【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公表番号】特表2008-528521(P2008-528521A)
【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)
【年通号数】公開・登録公報2008-030
【出願番号】特願2007-552418(P2007-552418)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/48　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/127　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　5/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/22　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/705　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/47　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ　19/00　ＺＮＡ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｋ　37/475
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　9/127
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　29/00　１０１
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　9/10
Ａ６１Ｐ　5/14
Ａ６１Ｐ　27/06
Ａ６１Ｐ　17/06

Ａ６１Ｐ　31/16
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｐ　31/22
Ｃ０７Ｋ　16/00
Ｃ０７Ｋ　14/705
Ｃ０７Ｋ　14/47
Ｃ１２Ｎ　15/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月26日(2009.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
２個のβ２－糖タンパク質Ｉ（β２ＧＰＩ）ポリペプチドに作動可能に結合した抗体Ｆｃ領域を含む構築物であって、
該β２ＧＰＩポリペプチドの各々は、β２ＧＰＩのインタクトなドメインＶを少なくとも含み、該β２ＧＰＩポリペプチドは、該Ｆｃ領域に結合された場合に、二量体を形成しかつホスファチジルセリンに結合する、構築物。
【請求項２】
前記β２ＧＰＩポリペプチドが、それぞれ、β２ＧＰＩのインタクトなドメインＶを少なくとも含み、かつ、β２ＧＰＩのドメインＩを実質的に欠く、請求項１に記載の構築物。
【請求項３】
前記β２ＧＰＩポリペプチドが、それぞれ、β２ＧＰＩのドメインＩ、ドメインＩＩ、ドメインＩＩＩ、ドメインＩＶ、およびインタクトなドメインＶを含む、請求項１に記載の構築物。
【請求項４】
前記β２ＧＰＩポリペプチドが、それぞれ、ヒトのβ２ＧＰＩポリペプチドである、請求項１～３のいずれか１項に記載の構築物。
【請求項５】
前記抗体Ｆｃ領域が、ヒトのＩｇＧ１（γ１）抗体由来のＦｃ領域またはヒトのＩｇＧ３（γ３）抗体由来のＦｃ領域である、請求項１～４のいずれかに記載の構築物。
【請求項６】
前記構築物が、少なくとも第１の診断剤または治療剤に作動可能にさらに結合されている、請求項１～５のいずれかに記載の構築物。
【請求項７】
前記構築物が、少なくとも第１の抗脈管形成剤、抗癌剤、または抗ウイルス剤に作動可能にさらに結合されている、請求項６に記載の構築物。
【請求項８】
治療に用いるための、請求項１～７のいずれかに記載の構築物。
【請求項９】
癌を治療するための医薬の製造における、請求項１から７のいずれか１項に記載の構築物の使用。
【請求項１０】
ウイルス感染を治療するための医薬の製造における、請求項１から７のいずれか１項に記載の構築物の使用。